



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月16日

上場会社名 株式会社 スーパーツール
 コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 量夫

問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 田中 穰

TEL 072-236-5521

四半期報告書提出予定日 平成29年10月27日

配当支払開始予定日

平成29年11月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年3月16日～平成29年9月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	3,704	14.5	406	12.4	360	13.7	232	17.7
29年3月期第2四半期	4,333	24.2	463	6.9	417	7.9	282	6.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 239百万円 (28.4%) 29年3月期第2四半期 334百万円 (20.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	22.37	
29年3月期第2四半期	27.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,489	8,344	72.6
29年3月期	12,038	8,199	68.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 8,344百万円 29年3月期 8,199百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		9.00		9.00	18.00
30年3月期		9.00			
30年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年3月16日～平成30年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,700	17.1	900	14.3	800	13.9	540	16.4	51.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	10,405,480 株	29年3月期	10,405,480 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	10,750 株	29年3月期	9,719 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	10,395,093 株	29年3月期2Q	10,396,780 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の輸出、生産が順調に拡大するなかで、緩やかな景気回復基調が続きましたが、個人消費行動に硬直化がみられ、力強さに欠ける状況になりました。一方、海外経済は、新興国においては堅調な内需と先進国向け輸出の増加を背景に底堅く推移しましたが、米欧などの先進国における保護主義的な動きや、地政学リスクが払拭できず、依然として不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、金属製品事業について、新製品の付加価値化と機能の底上げを図り、既存製品のコストダウン強化を推し進め、生産ラインの見直しや省人・省力化など効率的な生産体制の構築により収益の安定化に取り組んでまいりました。また、顧客が見て、さわって、感じて頂ける展示室のリニューアルオープンなど、さらなる顧客サービスの向上に取り組んでまいりました。

一方、環境関連事業については、省エネ、創エネ機能の向上によるエネルギー収支の改善、災害時の電力確保がBCP対策として注目されるものの、太陽光発電設備の導入意欲が低下するなか、水上設置型太陽光発電などのニーズに応じた設計、施工提案を強化してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,704百万円（前年同四半期比628百万円減、14.5%減）、営業利益は406百万円（前年同四半期比57百万円減、12.4%減）、経常利益は360百万円（前年同四半期比57百万円減、13.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は232百万円（前年同四半期比50百万円減、17.7%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(金属製品事業)

作業工具は、国内販売ではきめ細かい展示会の開催などによりトルクレンチなど新製品のプロモーション活動を推進し、多様な産業分野での設備投資需要に応えたことにより、メンテナンス関連製品や治工具類が売上に寄与いたしました。海外市場では、幅広い製品群を活かした販路の拡大に努め、韓国を含むアジア諸国の一部では需要回復傾向が見られました。

産業機器は、都市基盤整備に伴う設備投資、施設のバリアフリー化などの整備事業が続くなか、効果的な販売キャンペーンが功を奏し吊クランプ、ジブクレーンの販売が順調に推移し、荷役作業の効率性に優れた汎用クレーン類の需要が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,705百万円（前年同四半期比109百万円増、4.2%増）、セグメント利益は569百万円（前年同四半期比8百万円増、1.5%増）となりました。

(環境関連事業)

より筋肉質な事業体制を目指して、企画営業部門と施工部門との緊密な連携と事業運営により、魅力ある提案を継続するとともに、海外大手パワーコンディショナーメーカーとの取引を開始することにより太陽光関連部材の品揃え充実を実施してまいりましたが、さらなる売電価格の引下げによる導入意欲の低下や施工適地の減少により業績は伸び悩みました。なお、売電部門では、大阪府河南町及び柏原市に設置した3カ所の発電所が順調に稼働しており、収益の安定化に寄与しております。

これらの結果、当セグメントの売上高は999百万円（前年同四半期比738百万円減、42.5%減）、セグメント利益は42百万円（前年同四半期比50百万円減、54.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ549百万円(4.6%)減少し、11,489百万円となりました。

主な増減は、仕掛品の減少219百万円、商品及び製品の減少156百万円、受取手形及び売掛金の減少95百万円、現金及び預金の減少72百万円、機械装置及び運搬具の減少52百万円、前渡金の増加30百万円、投資有価証券の増加28百万円等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ694百万円(18.1%)減少し、3,145百万円となりました。

主な増減は、支払手形及び買掛金の減少295百万円、長期借入金の減少127百万円、未払法人税等の減少79百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少48百万円、未払金の増加55百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ145百万円(1.8%)増加し、8,344百万円となりました。

主な増減は、その他有価証券評価差額金の増加17百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加232百万円、配当金の支払いによる減少93百万円、繰延ヘッジ損益の減少11百万円等であります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、2,502百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、仕入債務の減少額295百万円、法人税等の支払額189百万円等により資金の減少がございましたが、たな卸資産の減少額357百万円、税金等調整前四半期純利益312百万円、売上債権の増加額95百万円、減価償却費89百万円等により、249百万円資金が増加(前年同期568百万円の資金増加)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、有形固定資産の取得による支出39百万円、有形固定資産の除却による支出12百万円等により52百万円資金が減少(前年同期465百万円の資金減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、長期借入金の返済による支出176百万円、配当金の支払額93百万円等により270百万円資金が減少(前年同期125百万円の資金増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年4月25日付「平成29年3月期決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,585,315	2,512,409
受取手形及び売掛金	917,999	822,852
商品及び製品	1,286,760	1,129,815
仕掛品	848,897	629,294
原材料及び貯蔵品	219,074	238,472
前渡金	8,040	38,607
繰延税金資産	27,416	36,345
その他	47,444	9,532
流動資産合計	5,940,948	5,417,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	555,682	540,409
機械装置及び運搬具(純額)	970,859	917,964
土地	4,088,246	4,088,246
その他(純額)	33,132	52,997
有形固定資産合計	5,647,921	5,599,617
無形固定資産	11,863	11,423
投資その他の資産		
投資有価証券	368,799	397,212
繰延税金資産	16,827	16,254
その他	52,565	47,629
投資その他の資産合計	438,192	461,097
固定資産合計	6,097,977	6,072,138
資産合計	12,038,926	11,489,467

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	634,826	339,003
1年内返済予定の長期借入金	314,112	265,308
未払金	237,986	293,422
未払法人税等	203,361	123,938
賞与引当金	55,169	56,244
その他	156,118	17,066
流動負債合計	1,601,574	1,094,984
固定負債		
長期借入金	833,041	705,537
再評価に係る繰延税金負債	1,022,632	1,022,632
繰延税金負債	165,982	148,788
退職給付に係る負債	165,963	173,114
その他	50,529	-
固定負債合計	2,238,149	2,050,072
負債合計	3,839,724	3,145,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,898,643	1,898,643
資本剰余金	836,249	836,249
利益剰余金	2,998,881	3,137,884
自己株式	△2,742	△3,190
株主資本合計	5,731,032	5,869,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,431	158,397
繰延ヘッジ損益	10,638	△673
土地再評価差額金	2,317,100	2,317,100
その他の包括利益累計額合計	2,468,170	2,474,824
純資産合計	8,199,202	8,344,411
負債純資産合計	12,038,926	11,489,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月16日 至平成28年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月16日 至平成29年9月15日)
売上高	4,333,429	3,704,925
売上原価	3,177,081	2,603,011
売上総利益	1,156,347	1,101,914
販売費及び一般管理費	692,924	695,802
営業利益	463,423	406,111
営業外収益		
受取利息	74	97
受取配当金	4,395	4,223
投資事業組合運用益	2,224	—
その他	2,371	3,020
営業外収益合計	9,066	7,341
営業外費用		
支払利息	4,664	3,765
売上割引	45,769	49,203
その他	4,355	122
営業外費用合計	54,789	53,091
経常利益	417,699	360,361
特別利益		
固定資産売却益	444	27
特別利益合計	444	27
特別損失		
固定資産除売却損	—	12,931
役員退職功労金	—	35,000
特別損失合計	—	47,931
税金等調整前四半期純利益	418,144	312,457
法人税、住民税及び事業税	168,546	108,053
法人税等調整額	△32,968	△28,160
法人税等合計	135,577	79,892
四半期純利益	282,566	232,564
親会社株主に帰属する四半期純利益	282,566	232,564

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月16日 至平成28年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月16日 至平成29年9月15日)
四半期純利益	282,566	232,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,432	17,966
繰延ヘッジ損益	8,425	△11,312
土地再評価差額金	54,771	—
その他の包括利益合計	51,764	6,654
四半期包括利益	334,331	239,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,331	239,218
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月16日 至平成28年9月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月16日 至平成29年9月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	418,144	312,457
減価償却費	90,299	89,051
賞与引当金の増減額(△は減少)	357	1,075
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,881	7,151
受取利息及び受取配当金	△4,470	△4,321
支払利息	4,664	3,765
為替差損益(△は益)	4,339	△156
有形固定資産除売却損益(△は益)	△444	12,904
売上債権の増減額(△は増加)	652,797	95,147
たな卸資産の増減額(△は増加)	△234,277	357,149
仕入債務の増減額(△は減少)	15,689	△295,822
前渡金の増減額(△は増加)	△96,538	△30,566
その他	△90,476	△110,169
小計	770,966	437,665
利息及び配当金の受取額	4,469	4,319
利息の支払額	△4,589	△3,703
法人税等の支払額	△202,150	△189,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	568,695	249,257
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△467,731	△39,170
有形固定資産の除却による支出	—	△12,931
投資有価証券の取得による支出	△2,554	△2,517
その他	4,434	2,617
投資活動によるキャッシュ・フロー	△465,851	△52,002
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	—
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△260,756	△176,308
自己株式の取得による支出	—	△447
配当金の支払額	△93,571	△93,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	125,672	△270,317
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,339	156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	224,177	△72,905
現金及び現金同等物の期首残高	1,544,367	2,575,246
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,768,545	2,502,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月16日 至平成28年9月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,595,130	1,738,298	4,333,429	—	4,333,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,595,130	1,738,298	4,333,429	—	4,333,429
セグメント利益	561,271	92,854	654,126	△190,703	463,423

(注) 1 セグメント利益の調整額△190,703千円には、セグメント間取引消去3,292千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△193,995千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月16日 至平成29年9月15日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属製品事業	環境関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,705,110	999,815	3,704,925	—	3,704,925
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,705,110	999,815	3,704,925	—	3,704,925
セグメント利益	569,916	42,137	612,053	△205,941	406,111

(注) 1 セグメント利益の調整額△205,941千円には、セグメント間取引消去2,808千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△208,750千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。